

# 2021年3月期 第1四半期 連結決算概要

キオクシアホールディングス株式会社  
2020年8月12日

## 注意事項

2017年4月1日に株式会社東芝からメモリ事業を会社分割し（旧）東芝メモリ株式会社（以下「旧TMC」）が発足しました。2018年6月1日にBain Capitalを軸とする企業コンソーシアムにより組成される株式会社Pangea（以下「Pangea」または「新TMC」）が旧TMCを買収したのち、2018年8月1日に新TMCが旧TMCを吸収合併し、社名は東芝メモリ株式会社となりました。また、2019年3月1日に単独株式移転により東芝メモリ株式会社を完全子会社とする東芝メモリホールディングス株式会社（以下、「TMCHD」）を設立しました。2019年10月1日に当社はキオクシアホールディングス株式会社に社名変更しました。

将来に関する記述は、当社が現時点で把握可能な情報から判断した想定および所信に基づくものであり、多様なリスクや不確実性（経済動向、市場需要、半導体業界における激しい競争等がありますが、これらに限られません。）により、実際の結果とは異なる可能性があるのご承知おきください。また、当社は本資料上の将来予想に関する記述について更新する義務を負うものではありません。

本資料に記載されるメモリ市場の見通し等に関する情報は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成しているものであり、当社がその真実性、正確性、合理性及び網羅性について保証するものではありません。

なお、本資料は、当社の2021年3月期第1四半期連結決算概要の提供のために作成されたものであり、国内外を問わず、当社の発行する株式その他の有価証券への勧誘を構成するものではありません。

本文に掲載の製品名やサービス名は、それぞれ各社が登録商標または商標として使用している場合があります。

# 業績概要<sup>1</sup>

[億円]	20年3月期	21年3月期	対前四半期
	4Q	1Q	
売上高	2,796	2,675	▲121
営業利益	121	147	+26
マージン	4%	5%	+1pt
当期純利益	98	17	▲81
マージン	4%	1%	▲3pt
補足情報			
減価償却費	1,052	1,024	▲28
PPA影響 <sup>2</sup>	▲273	▲267	+6
法人税等費用	▲79	11	+90

1. 連結・IFRSベース

2. Pangeaによる旧TMCの買収に伴い発生したPPAによる営業利益への影響額

# ハイライト

## 足元の実績及び動向

	20年3月期 4Q	21年3月期 1Q
出荷量 <sup>1</sup> (QoQ)	1桁%台前半の 増加	1桁%台前半の 減少
販売単価 <sup>1</sup> (¥, QoQ)	1桁%台半ばの 上昇	1桁%台前半の 上昇

1. 記憶容量ベース

- SSDの物量は堅調に推移したものの、スマートフォン向けの物量が新型コロナウイルス感染拡大の影響により低調に推移したため、出荷量はわずかに減少
- 需給バランスは引き続き安定的に推移し、販売単価は3四半期連続で上昇

## 製品開発・技術開発

- 業界初、24G SAS対応のサーバー/ストレージシステム向けSSDの出荷（2020/6/16発表）

## 台湾・LITE-ONテクノロジー社のSSD事業の買収完了

- 7月1日付けで台湾 Solid State Storage Technology Corporation（建興儲存科技股份有限公司）とその関係会社の全株式を取得、SSD事業の強化を図る

## 北上工場（キオクシア岩手）

- 本四半期は、全期間にわたりウエハー出荷に寄与

## 市場動向及び見通し

- 新型コロナウイルス感染症の拡大によるグローバル経済の不確実性もあり、NAND市場の見通しは短期的には引き続き精査が必要な状況ではあるが、データセンター・エンタープライズサーバー向けの継続的な需要や次世代家庭用ゲーム機向けの新たな需要に加え、スマートフォンの買い替え需要の回復や5Gサービスの進展に伴うメモリ搭載容量の増加も期待されることから、中長期的な成長トレンドは変わらないとの見方が一般的。

**KIOXIA**